

製品名: IRAK-M ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab12732

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	68kDa

抗原情報

遺伝子名	IRAK3
別名	IRAK3; Interleukin-1 receptor-associated kinase 3; IRAK-3; IL-1 receptor-associated kinase M; IRAK-M
遺伝子 ID	11213.0
SwissProt ID	Q9Y616
免疫原	抗血清はヒト IRAK3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 491-540

背景

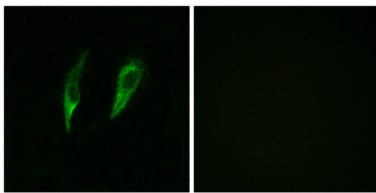
この遺伝子は、インターロイキン-1 受容体関連キナーゼタンパク質ファミリーのメンバーをコードします。このファミリーのメン

バーは、Toll/IL-R免疫シグナル伝達経路の必須構成要素です。このタンパク質は主に単球およびマクロファージで発現し、Toll様受容体シグナル伝達の負の調節因子として機能します。この遺伝子の変異は喘息感受性と関連しています。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2010年5月],触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。注意: 活性部位残基であると予想される保存されたアスパラギン酸の代わりに、Ser-293が存在します。PubMed:10383454では低レベルの自己リン酸化活性が報告されているが、他の著者はこれを不活性キナーゼと記述している。補因子:マグネシウム。疾患:IRAK3の欠陥は、喘息関連形質5型 (ASRT5) [MIM:611064]に対する感受性と関連している。喘息関連形質には、咳、喘鳴、呼吸困難、メタコリン負荷試験による気管支過敏症、血清IgE値、アトピー、アトピー性皮膚炎などの喘息の臨床症状が含まれる。機能:IRAK1およびIRAK4のリン酸化を阻害するか、受容体複合体を安定化させることにより、Toll様受容体シグナル伝達複合体からのIRAK1およびIRAK4の解離を阻害する。類似性:タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。TKL Ser/Thrタンパク質キナーゼファミリー。Pelleサブファミリー。類似性: デスドメインを1つ含む。類似性: タンパク質キナーゼドメインを1つ含む。組織特異性: 主に末梢血リンパ球で発現する。、

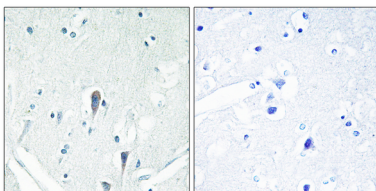
研究分野

アポトーシス阻害;ミトコンドリアアポトーシス;アポトーシスの概要;神経栄養因子;

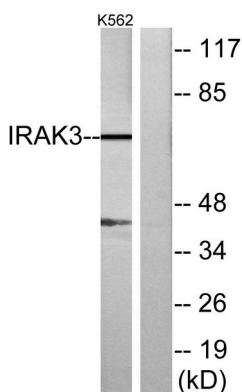
画像データ



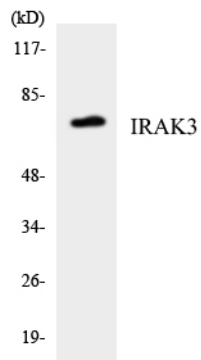
IRAK3抗体を用いたHeLa細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



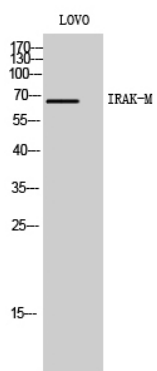
IRAK3抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



IRAK3抗体を用いたK562細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



IRAK3 抗体を使用した HUVEC 細胞溶解物のウェスタンブロット分析。



IRAK-M ポリクローナル抗体を用いた LOVO 細胞のウェスタンブロット解析